

## 授業科目

## 疼痛管理特論

担当教員名 佐藤 成登志、森下 慎一郎、大鶴 直史	対象学年	1	対象学科	保健学
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## 授業の概要

疼痛に関する幅広い基礎知識を学び、基礎から臨床までの疼痛のメカニズムや具体的なアセスメントとマネイジメントを理解する。後半は、受講生から疼痛のある症例を提示してもらい、その原因を討議するワークショップを実施する。

## 授業の目的

幅広い疼痛の原因を理解する。特にリハビリテーションで扱う疼痛のメカニズムを理解し、具体的なアセスメントとマネイジメントを習得する。後半のワークショップによって、臨床応用が可能な推論過程を構築することを目的とする。

## 学習目標

- 幅広い疼痛を理解して、説明することができる。
- 疼痛のメカニズムと徒手理学療法との関係を理解し、徒手理学療法実践に応用することができる。
- 運動器慢性疼痛のアセスメントとマネイジメントを理解して、説明することができる。
- 運動器慢性疼痛の徒手理学療法に関する様々な治療選択肢について討議することができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション、疼痛医学の概論	講義	佐藤 成登志
2	疼痛の神経生理学的基礎	講義	大鶴 直史
3	疼痛の発生メカニズム 1 (急性痛・慢性痛)	講義	大鶴 直史
4	疼痛の発生メカニズム 2 (末梢機構・中枢機構)	講義	佐藤 成登志
5	疼痛の発生メカニズム 3 (末梢機構・中枢機構)	講義	佐藤 成登志
6	疼痛のアセスメントとマネイジメント (周術期疼痛)	講義	森下 慎一郎
7	疼痛のアセスメントとマネイジメント (がん性疼痛)	講義	森下 慎一郎
8	疼痛のアセスメントとマネイジメント (運動器慢性疼痛：筋筋膜性疼痛、他)	講義	佐藤 成登志
9	疼痛のアセスメントとマネイジメント (運動器慢性疼痛：神経障害性疼痛、複合性局所疼痛症候群、他)	講義	佐藤 成登志
10	ニューロリハビリテーション	講義	大鶴 直史
11	疼痛のアセスメントとマネイジメント ワークショップ 1	講義・ワークショップ	佐藤 成登志
12	疼痛のアセスメントとマネイジメント ワークショップ 2	講義・ワークショップ	佐藤 成登志
13	疼痛のアセスメントとマネイジメント ワークショップ 3	講義・ワークショップ	佐藤 成登志
14	疼痛のアセスメントとマネイジメント ワークショップ 4	講義・ワークショップ	佐藤 成登志
15	疼痛のアセスメントとマネイジメント ワークショップ 5	講義・ワークショップ	佐藤 成登志

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	ペインリハビリテーション	松原貴子、沖田実、森岡周	三輪書店	2011年	4,410円	
その他の資料	配布資料					

### 評価方法

討論への貢献度、レポート課題

### 履修上の留意点

後半のワークショップのための疼痛事例を準備しておいて下さい。

### オフィスアワー・連絡先

担当代表 佐藤 研究室：E102

オフィスアワー：メールにてアポイントメントをお願いします。

メールアドレス：n-sato@nuhw.ac.jp